

2024年8月7日

岐阜大学医学部附属病院で造影CT検査を受けられた患者さんへ

「1024 matrix CT 画像の至適再構成法についての検討」への協力のお願い

放射線科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2023年8月1日～2024年6月30日の間に、岐阜大学医学部附属病院において、体幹部の造影CT検査を受けられた18歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年3月31日

研究目的・利用方法：

昨今、CT撮像技術の発展により、より高空間分解能な画像を臨床で使用できるようになりつつあります。現在では、CT画像の解像度を512 matrix から1024 matrix にまで向上させることが可能となっています。また、画像再構成法の進化により、画像ノイズを低減するアルゴリズムが開発されてきました。しかし、現在の日常臨床で一般的に用いられている画像再構成法をこの高解像度画像に適応させた場合、画像ノイズが上昇し、画質が劣化するという課題が懸念されます。

本研究の目的は、1024 matrix CT画像の臨床応用を見据え、最適な画像再構成法を同定することです。この研究により、高空間分解能かつ最適化された画像ノイズ・画質のCT画像を臨床導入することが可能となります。

研究に用いる情報の項目：

日常診療の範囲内で実施される項目です。本研究では岐阜大学医学部附属病院放射線部に設置されているGE Healthcare社製CT装置に標準装備されている画像撮影パラメータならびに画像再構成法を利用する。

- ① 年齢、性別、身長、体重、BMI、診断名
- ② 画像検査：腹壁脂肪におけるCT値の標準偏差、腹部実質臓器（肝、膵、腎、脾）のCT値、CTパラメータ
- ③ 放射線科医による定性評価データ：Overall image quality、image noise、sharpness、lesion conspicuity

研究に用いる情報の利用を開始する予定日：2024年9月1日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合

わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 放射線科

氏名：小俣真悟

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 放射線科

電話番号：058-230-6437

氏名：小俣真悟

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp